

平成29年度 生物多様性推進活動優秀賞表彰について

○表彰の対象は、以下の取組を行う功績顕著な学校等としています。

自然の恵み	地元食材や旬の食材、地元の食文化について理解を深める取組
ふれあい	自然体験を通じ、自然と関わる楽しさや厳しさ、その地域の特色を学習する取組
自然表現	絵画や作文などの創作活動により、自然のすばらしさや自然との関わり方を学習する取組
自然保護	身近な自然を対象にして、自然や生きものの調査、保護を行う取組
その他	上記のほか、特に生物多様性の保全に資すると認められる取組

○平成29年度表彰校・取組実績一覧

学校名	取組実績	部門
大和町立吉田小学校	宮城県森林インストラクターや森林所有者等の協力を得て、森林学習や学校林の植樹・保育等に取り組んでいる。全学年が継続的に取り組むことで一過性でない活動が可能となり、地域の自然環境の学習促進や保全意識の育成をもたらすことができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい ・自然保護
大崎市立大貫小学校	蕪栗沼や水田の生き物調査を行い、生物多様性を体験するとともに、NPO法人の協力のもと無農薬・無化学肥料による「ふゆみずたんぼ」で昔ながらの手作業での米作りを行い自然からの恵みを学んだ。また、活動をまとめた冊子を作成し成果の普及を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい ・自然保護
栗原市立志波姫小学校	地元の環境保全活動組織の協力のもと、メダカを用いた減化学農薬・減化学肥料の稲作を通して、洪水防止機能など水田のもつ様々な役割と重要性について学習した。環境保全米の生産に関わることで自分たちの活動が恵みにつながることを理解した。	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい ・自然保護
登米市立米谷小学校	学年ごとに生き物調査や北上川でのサケの採卵・放流体験、伝統野菜栽培等を行った。これらにより、地域特有の自然の恵みと人間の営みを体験することができ、理解を深めた。	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の恵み ・ふれあい ・自然保護
南三陸町立戸倉小学校	海岸自然環境を活かした体験や創作、地場産業である養蚕やサケの孵化・稚魚の放流を行った。このことで、恵まれた自然環境が豊かな食文化や伝統文化を醸成していることを学ぶことができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の恵み ・ふれあい ・自然表現